

第5回 みなと国際交流・ 協力の日

テーマ:伝統とカルチャー

2017年1月21日(土)
午後1時~午後5時30分

●麻布区民センター

どなたでも
入場
無料!

【内容】



ホール

- ◎いろいろな国際団体の活動紹介プレゼンテーション
- ◎「港区の国際化推進の取り組みについて」港区国際化・文化芸術担当課長 清野成美
- ◎日本の武道紹介 合気道のデモンストレーション 合気道錬身会 最高師範 千田裕
- ◎漫画道場「マンガの面白さ」小池一夫(代表作品:子連れ狼ほか)
- ◎特別講演I「どうなる世界 どうする日本」~新アメリカ大統領就任~
株式会社ジャパンICTファンド 会長 高島肇久
- ◎特別講演II「文化の多様性と国の活力」
川村学園女子大学特任教授・国際教養大学客員教授 石川薫
- ◎落語「カナダ人落語家による落語:
日本語に英語をまじえた落語で英語が苦手な方も捧腹絶倒」
桂三輝(かつら さんしゃいん)カナダのトロント生まれ、桂文枝師匠の弟子

集会室 ◎日本在住の外国人とディスカッション Let's Talk about Your Life in Japan
◎国際団体の諸問題をディスカッション

ロビー ◎国際団体の広報ブース

主催:「みなと国際交流・協力の日」実行委員会

共催:国際協力機構 JICA

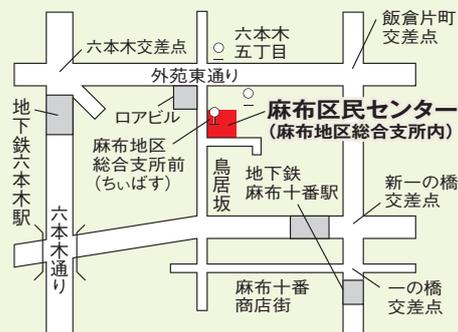
後援:港区、Kissポート財団、港区国際交流協会、港ユネスコ協会、日本建築家協会、日本・ラテンアメリカ婦人協会、Barefoot Doctors Group、ラフィキワ アフリカ、葉隠フォーラム、東京都日中友好協会、日印協会、ベトナム協会、東京グローバルロータリークラブ、国際日本語普及協会、江戸川インド人会、沢木会、合気道錬身会、日本英語交流連盟 他(申請含む)

会場

麻布区民センター(麻布地区総合支所内) 六本木5-16-45
●ちいばす麻布ルート・田町ルート「麻布地区総合支所前」徒歩0分

〈問い合わせ〉「みなと国際交流・協力の日」実行委員会

TEL/FAX:03-3447-0843 Email:endosh1950@yahoo.co.jp



◆参加団体の紹介◆

■独立行政法人 国際協力機構 JICA

国際協力機構(JICA)は、国際社会・開発途上国の平和と安定、繁栄が日本及び世界の発展につながるという日本国政府の方針のもと、政府開発援助(ODA)の実施機関として、途上国支援、地球規模の課題解決、国際間の連携を担う独立行政法人です。市民の皆様が途上国支援への窓口として、青年海外協力隊等ボランティア派遣、学校等での途上国理解の教育活動の促進、NGO、自治体などと連携した共同事業も実施しています。

所在地:東京都千代田区二番町5-25二番町センタービル
TEL:(03)5226-6660から6663(代表) URL:<http://www.jica.go.jp/>

■港ユネスコ協会

1981年に設立された、東京都港区内に拠点を置いてユネスコ活動を行っているボランティア団体です。国連の専門機関UNESCO憲章にうたわれた「教育、科学、文化の諸活動をとおして平和を築こう」という精神に基づいて、シンポジウム、講演会、世界の味文化紹介、文化紹介、ユース・フォーラム、英会話教室、大使館訪問などの活動を行っています。

連絡先:東京都港区新橋3-16-3 港区立生涯学習センター 3F
TEL:03-3434-2233(FAXも同じ) URL:<http://minato-unesco.jp>

■一般社団法人 日本・ラテンアメリカ婦人協会

本会は、わが国に在住するラテン・アメリカ諸国の婦人との連絡及び文化、教育、社会等の各分野における相互協力関係の緊密化を図ることにより、我が国とラテン・アメリカ諸国との相互理解と友好親善を促進する。同様にラテンアメリカ諸国及び日本においてそれらの国々を援助している慈善事業に寄与することを目的としています。

事務所:東京都昭島市玉川町三丁目1番9号
E-MAIL:damas-latinoamericano@nifty.com

■Barefoot Doctors Group

1978年、WHO/UNICEFは「全ての人に医療を!」とアルマータで宣言。その際、世界大戦後の荒廃した中国での医療の担い手Barefoot Doctorsが表彰されました。平和の「へそ」、沖縄/ミャンマーに拠点を置き、人災(イラク戦争・PLHIV問題)、天災(サイクロンナルギス、東日本大震災)に際し、医療/福祉/教育事業、自立支援事業(八角平和計画等))を行っています。

連絡先:神奈川県鎌倉市由比ヶ浜1-9-18
TEL/Fax:+81(0)467243029 URL:<http://barefoot-doctors.org/>

■特定非営利活動法人 ラフィキアフリカ

東アフリカウガンダの東北部ソフィキ地区の未亡人達を対象に職業訓練の指導をしていきます。内戦・テロ・HIV/AIDS事故その他で主人を亡くし貧困にあえぐ彼女たちに自立の道を授け、得たお金で子供達の教育を受けさせます。購入した土地に訓練所の建設もしています。今年は職業訓練の担当者を日本に招聘し、さご農場で訓練を受けてもらいます。さらに小・中学校の孤児達に奨学金を支給しています。

連絡先:世田谷区瀬田1-7-9
TEL:03-3700-2936,03-3700-5054 FAXも同じ
URL: <http://home.b01.itscp.net/uganda>

■NPO法人 東京都日中友好協会

日中友好を願う人々による「草の根の市民交流」を目的に1950年に設立されたボランティア組織です。中国旅行、訪日団の受け入れ、中国語スクーリング、交流会、講座など各種イベントを実施しています。東京都内に居住・通勤・通学し、日中友好を願う個人及び団体であればどなたでも加入できます。また、東京都の友好都市である北京市を中心として、中国各地の人々との市民交流を深める活動に積極的に取り組んでいます。

所在地:東京都千代田区神田錦町1-4 日中友好会館5階
TEL:03-3295-8241 FAX:03-3295-8255
E-mail:to-nicchu@jcfa-tyo.net URL:<http://www.jcfa-tyo.net/>

■公益財団法人 日印協会 THE JAPAN-INDIA ASSOCIATION

日印協会は1903(明治36)年に大隈重信侯爵、長岡護美子爵、渋沢栄一翁によって組織され、日印両国民の親善を図る傍ら、インド事情の調査・日本文化と経済事情の紹介等を行った。3人の創設者は、第1代から第3代の日印協会の会長を務めた。機関誌「月刊インド」を年10回発刊し会員へ送付し、Web季刊誌「現代インド・フォーラム」を年4回当協会HPに発表、公開している。

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 2-1-14 スズコービル 2階
電話:03-5640-7604 Fax:03-5640-1576
Eメール:partner@japan-india.com URL: <http://www.japan-india.com/>

■公益社団法人ベトナム協会 The Japan-Vietnam Association

当協会は、日本・ベトナム両国間の経済技術等の協力、貿易増進、文化交流等によって親善の強化を図ると共に、両国の発展と繁栄に寄与することを目的に設立されました。昭和40年10月15日外務省許可により社団法人として設立。代表者会長 植田松登(三井物産(株)取締役会長)法学会員、個人会員により組織されている。(事業:1.民生安定に寄与する社会的、経済的、技術的な開発に対する支援。2.学生、研修者等の交換派遣ならびに文化・宗教の交流。3.ベトナムの社会・文化・宗教・政治・経済等の事情についての調査とその広報。4.相互間の経済提携の強化と貿易増進。5.その他、本協会の目的達成のために必要な事業。)

所在地:東京都港区六本木6-2-33 六本木ヒルズ ノースタワーアネックスビル3F
TEL:03-3403-3449 Mail:Ogawa1305@yahoo.co.jp

■東京グローバル・ロータリークラブ

2014年設立の新しいロータリークラブです。1905年のアメリカ・シカゴでの最初のクラブ発足以来、ロータリーは地域社会や国際社会への奉仕活動を大きな柱としてきました。私たちのクラブもミャンマーへの教育関連の支援を始めています。ロータリー平和フェローシップ(紛争解決などの専門家養成プログラム)で来日する留学生のお世話も行っています。

事務局 連絡先:tglobal.rc@gmail.com TEL:080-6720-4136
URL:<https://www.facebook.com/東京グローバルロータリークラブ-147878639385/>

■公益社団法人国際日本語普及協会

21世紀の新しい多文化共生社会を目指す中で、日本語教育を通じて、日本と日本文化を発信し、日本人と日本社会に関して、世界中のより多くの方々に理解を深めていただくことにあると考え活動している団体です。近年、日本に定住する外国人が急増していますが、日本社会への適応を支援する活動にも力を入れています。

連絡先:港区虎ノ門3丁目25-2 虎ノ門 TEL:03-3459-9620
URL:www.ajalt.org

■江戸川インド人会 Indian Community of Edogawa (ICE)

会長のジャグモハン スワミダス チャンドラニ さんはインドの紅茶や食品の輸入ビジネス、インドレストラン経営等を手がける傍ら、「江戸川インド人会」会長として在インド人への支援や日本人とインド人との草の根交流の促進に努める。2000年代以降、IT技術者を中心にインド人が多く居住しており、「日本におけるインド」という観点からメディアで取り上げられることも多いようである。2010年(平成22年)のインド人の外国人登録者は日本全体で約2万2000人おり、そのうち約1割の2336人が江戸川区に在住している。

■合気道練身会

合気道練身会は、日本の伝統文化である素晴らしい合気道を通じ、礼儀作法を身につけ心身共に健全な青少年の育成に努め、また、教育現場や企業研修、講習会、講演などを通じて、若者男女に広く愛し親しまれる武道の発展を目指している。

住所:東京都中央区日本橋本町4-6-10 サトービルB1
電話:03-5204-2101 FAX:03-5204-2102

■一般社団法人 日本英語交流連盟

日本英語交流連盟(英語名:English-Speaking Union of Japan 略称ESUJ)は、日本人たちが国際コミュニケーションの「道具」としての英語に慣れ親しむようになることを目的として1998年10月に設立された非政治、非営利のボランティア団体です。ESUJは独立した日本の一般社団法人ですが、1918年に英国で創設されたESU(English-Speaking Union)と密接な関係を保ち、世界の50カ国に存在するESUからなる国際評議会注のメンバーとしてESUのブランドの維持、普及に努めております。

事務所 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-5 富士陰ビル9階
電話:03-3423-0970 FAX:03-3423-0971 E-Mail:esuj@esuj.gr.jp

■小池 一夫(こいけ かずお、本名及び僧号:俵谷 星舟(たわらや せいしゅう))

1936年5月8日 生まれ、日本の漫画作家、小説家、脚本家、作家。秋田県大仙市出身。大阪芸術大学キャラクター造形学科教授、学科長、中央大学法学部卒。代表作:『子連れ狼-ローンウルフ』『修羅羅姫:キルビル』『クライング フリーマン』他 小説:『乾いて候』、『夢源氏剣祭文』(毎日新聞連載)『漫画はキアラ起てが大事』が信条で、これがキャラクター言論という学説をつくりあげた。2004年アメリカでウィリアムズ賞受賞、マンガの殿堂入り(アメリカ、カリフォルニア州、サンディエゴ)

■高島 肇久

1940年東京生まれ、1963年学習院大学政治学科を卒業してNHKに入局。サイゴン、ワシントン、ロンドン特派員などを経て1990年から「NHKニュース21」のアンカーマン。その後、報道局長、解説委員長などを歴任し、2000年から東京の国際連合広報センター所長、外務省外務報道官、学習院大学法学部特別客員教授、株式会社日本国際放送代表取締役社長など。2015年新設された官民ファンド「株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構」の取締役会長に就任し現在に至っている。主な番組はNHKスペシャル「日本の条件・外交」、NHK-BSシリーズ「21世紀への証言」、NHK-WORLDシリーズ「Resilient Japan」。主な著作は「グローバル・コミュニケーション論」(世界思想社)、「日本からの情報発信」(新聞情報調査会)(いずれも共著)。

■石川薫

元外交官、現在は人道支援、開発、貿易交渉、サミットなどについて大学院と大学で教鞭をとっている。1972年東大法学部卒。同年外務省入省。G8サミット・サブシエルバ、国際社会協力部長(ユニセフ、WFP、行財政などの国連関係)、経済局長(貿易摩擦、EPA交渉などの経済問題)、在エジプト大使、アラブ連盟代表大使(初代)、在カナダ大使など歴任。その間の教歴、研究歴として、英国国際戦略研究所リサーチフェロー、日本国際問題研究所所長代行、東京大学客員教授、早稲田大学非常勤講師。現在在(学学)川村学園理事・同女子大学特任教授、国際教養大学客員教授。このほか他大学の大学院、学部で非常勤講師。

■桂三輝(かつら さんしやいん)

カナダのトロント生まれ、落語家 劇作家・作曲家、トロント大学卒、大阪芸術大学大学院舞台芸術研究科修士課程卒業、2008年六代桂文枝(当時桂三枝)の元に弟子入り。上方落語界初、戦後日本初外国人落語家。2009年シンガポールにおいて初舞台。2012年自宅を改装し、寄席「伊勢河崎輝輝亭」をオープン。2013年スリランカ公演、北米英語落語ツアー(20都市・30回公演)、2014年米国テキサス・ケンタッキー英語落語ツアー、桂三輝落語ワールドツアースタート。2015年アフリカツアーも果たし、世界5大陸を制覇。2015年、日本スロヴェニア親善大使に就任。現在、東京とロンドンを拠点に活躍中。文化大使(在日カナダ商工会議所)、PR隊長(三重県観光キャンペーン)

みなと国際交流・協力の日実行委員会とは

本実行委員会は、2011年9月に市民の発意により設立され、主に港区内で活動する国際交流・協力関連団体、グループが協働し、イベントの開催等、各団体の活動紹介、団体間の交流、情報交換、ネットワークづくりの場を提供しています。これまで4回にわたり外国人によるプレゼンテーション、日本人を交えてのディスカッションを行う「Let's Talk about Your Life in Japan」、国際交流を行う団体の認知活動ならびに交流の場「みなと国際交流・協力の日」を開催してきました。